

②
中・高校生の部
最優秀賞

今年も元気なおじいちゃん、おばあちゃんへ 兵庫県 佐藤 みどりさん 高校2年生

おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう。物心ついた時から、私はおじいちゃん達と一緒に暮らしてて、それが当たり前やと思ってた。でも今は、毎日感謝の連続です。

私が小学校に入る前、めっちゃわがままやった私を見て、おじいちゃんは『情けない。』と泣いてくれたね。その涙が、今も私の心を動かしてる。教科書の中の出来事やった戦争も、『今ここにいるおじいちゃんが経験した』っていう事実だけで、私の意識はめっちゃ変わった。おじいちゃんとおばあちゃんがいてくれるから、両親も安心して仕事に行ける。

そして何より、おじいちゃんとおばあちゃんと過ごす時間の中には、大切なもんがいっぱい詰まってるねん。風呂の残り湯で洗濯をして、その残り湯で花の水遣り、夏は打ち水。いつか私が家族を持ったら、受け継いで、実践したいと思ってるよ。

私は夏休みにカキ氷を作ってあげることしかできひんけど、カキ氷くらいなら、毎年作るから。家を出ても、作りに帰ってくるから。おじいちゃんとおばあちゃんは、毎年元気にここにおってね。



③
一般の部
最優秀賞

「母から 離れて暮らす長男へ」 青森県 藤田 智恵子さん 42歳

初任給で家族全員に買ってくれたプレゼント届きました。ちゃんと一人一人に感謝の手紙まで添えてあって。ありがとね。お父ちゃんとお母ちゃんは、嬉しくて有り難くて、二人で鼻水垂らして泣きました。

一体いつの間にこんな立派な大人になったんでしょうねえ。

このまちの自然に囲まれ、地域のみなさんの思いやりに包まれ、家族の愛情を受けて、あなたはまっすぐに育ってくれた。有り難いことです。東西南北どの方向にも深々と頭を下げお礼をしたいた程、あなたを支え育んでくれた全てのみなさんに、感謝しています。じいちゃんとお隣のすみばあと、お向かいのさだばっちは、茶飲み話にいつも「克哉の嫁っこ見るまでは元気でないば。いやいや、孫っこ見るまで元気でないば」と、楽しそうに笑っています。東京で暮らすあなたの頑張りは、みんなに元気をくれていますよ。ありがとう……。

